

様式第7号（第21条関係）

番 号

令和6年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県西松浦郡有田町大樽2-3-21

団 体 名 特定非営利活動法人灯す屋

代表者職・氏名 代表理事 佐々木 元康

電 話 番 号 0955-29-8929

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人灯す屋
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

当団体は「一人ひとりがおもしろい未来を描ける社会」の実現をビジョンとして、様々な事業に取り組んでいます。

日本、特に佐賀県など地方において人口減少に歯止めがかからない社会では、人生を豊かに生き、一人ひとりが自分にとって興味深く熱中できる何かを見つけることが人生を豊かに生きる第一歩であると定義し、時代や雰囲気に流されずに自分を信じて挑戦しようとする人の背中をそっと押すことこそが、当団体の役割であると考えています。

このビジョン実現に向け、従来通り空き物件の活用推進や移住定住支援に加え、ちゃわん最中や灯すラボなどの枠に捉われない様々な事業を通じて、佐賀県内の人々に向けて場や機会の提供を行うことで、新たな挑戦をする人が増えることを目指しています。

## 4 事業の成果

### ① 県民の便益にどのようにつながったのか

- ・ 空き物件の相談窓口の開設、空き物件インフォメーションの運用、空き物件見学ツアーをYoutube動画配信を行った。（相談件数：43件、Youtube動画公開数：9本 総視聴回数67,182回）
- ・ 「灯すラボ実験室A」及び「灯すラボ実験室B」の施設管理・運営を行った。  
実験室A / 滞在者数(1~3ヶ月利用)：延べ10名  
実験室B / 灯すラボアフタースクール（子どもの居場所）：毎週木曜開催 計39回  
灯すラボライター講座：全7講座 9名参加  
白川みんなの農園：整備およびお披露目イベントを開催
- ・ うちやま百貨店を開催した。（出店者数：28事業者、来場者数：約3,000人）
- ・ お試し有田暮らし事業を企画・運営した。（将来的な有田町への移住・起業を希望する2名が有田町のゲストハウスに約1週間滞在）
- ・ 佐賀県への移住起業支援を行った。（相談件数：22件 うち2名が佐賀県へ移住及び起業した）
- ・ ちゃわん最中プロジェクトでは、新しい切り口での商品開発2件（7窯元による有田焼ミニ茶碗・有田焼絵付師など地域クリエイターによる包装紙の制作）に取り組んだ。
- ・ 県内の6つの飲食店とコラボメニューを開発し、期間限定で販売した。

このような取り組みを通じて、地域内外の人の交流や仲間づくり、移住や新規事業への挑戦をする人の支援を行い、佐賀県の豊かな暮らしづくりに貢献することができた。

### ② 佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ） □

- ・ クリエイティブWEBマガジン灯すラボで地域の魅力的な人材（8名）を佐賀県内外の人へ伝える取材記事を制作した。
- ・ また、ちゃわん最中については販売に限らず、佐賀県の文化を伝えるお土産品として、SNSでの発信、新聞・テレビ等のマスメディアで広報の他、福岡県で開催された展示会に出展し、佐賀や有田についてPRを行なった。

このような発信により、佐賀に興味を持ち、実際に訪れる人が出てきている。今後も関係人口の創出が期待できる様々な事業展開や情報発信に取り組んでいく。

5 寄附金活用事業実績：（別記1）

6 次年度繰越額活用見込み：（別記2）

7 寄附金活用額：（別記3）

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
空き物件相談窓口 業務	①空き物件活用の促進 ②有田町に空き物件を所有している方 や空き物件の活用希望者 ③相談窓口を設け対応を行なった。必 要に応じて、不動産業者や建築業者と も連携の上、活用可能な物件の紹介や 改修等の支援を実施した	①メール・電話対 応：毎日 窓口：毎週月～金 曜 ②灯す屋事務所お よびオンライン	870,437	664,614
空き物件活用事業 (灯すラボ実験室 A/B)	①町内外人材の交流促進、関係人口の 増加 ②有田町外在住の他拠点居住者 ③テレワークおよび居住施設の運営、 子どもの居場所づくり、ライティング 講座、農園を通じた地域コミュニテ ィづくり、地域の魅力的な人物紹介のた めの取材記事作成	①通年 ②有田町内山地区	8,255,395	4,035,159
空き物件活用イベ ント企画・運営	①新規開業者の支援 ②新規開業・出店や新商品開発等の新 しい取り組みを希望する者 ③有田町内山地区でうちやま百貨店を 開催した	①11月 ②有田町内山地区	423,115	47,472
移住定住支援業務	①有田町または佐賀県への移住希望者 がスムーズに佐賀県への移住できるよ うに支援すること ②有田町または佐賀県に移住を希望し ている方 ③相談窓口を設け、有田町及び佐賀県 の情報、あるいは住まいや仕事の情報 等の聞き取り対応を実施した	①メール・電話対 応：毎日 窓口：毎週月～金 曜 ②灯す屋事務所お よびオンライン	1,098,900	760,797
移住起業支援ネッ トワーク業務	①県外から佐賀県へ移住、起業する魅 力的な個人・法人を呼び込み、県内の 暮らし環境を向上を目指すこと ②佐賀県への移住起業希望者 ③佐賀県内へ移住して起業したい個 人。法人に向けた相談窓口を設置し、 相談内容をヒアリング、各地域のサ ポーターや専門機関などにつなぐなど コーディネートを行った。	①メール・電話対 応：毎日 ネットワーク内 での情報共有：月1回 ②オンライン	4,700,069	3,243,397
ちやわん最中事業	①様々なクリエイティブ関係人口の増 加および有田焼の認知拡大 ②地域住民、観光客、クリエイター ③ちやわん最中の企画・販売を行う。	①通年 ②灯す屋事務所	14,121,004	8,211,834
デザイン支援	①円滑に事業実施を進めるためのデザ イン支援 ②佐賀県内の新規開業者、新事業に取 り組む事業者 ③事業者のデザイン制作にかかわる相 談対応および制作を行った	①通年 ②灯す屋事務所	1,712,816	912,426
計			31,181,736	17,875,699

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
空き物件活用イベント企画・運営	①新規開業者の支援 ②新規開業・出店や新商品開発等の新しい取り組みを希望する者 ③有田町内山地区でうちやま百貨店を開催する	①4月/11月/3月 ②有田町内山地区	3,000,000	1,341,397
ちやわん最中事業	①様々なクリエイティブ関係人口の増加および有田焼の認知拡大 ②地域住民、観光客、クリエイター ③ちやわん最中の企画・販売を行う。	①通年 ②灯す屋事務所	14,000,000	9,500,000
計			17,000,000	10,841,397

(別記3) 寄附金活用額

<b>【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)</b>		<b>40,415,969</b>
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	29,168,199
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	28,744,000
	前年度控除額(県事務経費)還付分	424,199
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	11,247,770

<b>【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)</b>		<b>29,574,572</b>
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	17,875,699
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	11,698,873
	返礼品等の調達に係る費用	9,614,588
	返礼品等の送付に係る費用	1,049,931
	広報に係る費用	412,254
	事務に係る費用	622,100

<b>佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)</b>	<b>10,841,397</b>
-------------------------------------	-------------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<http://tomosuya.com/>